

「地元で買い物」を

街の中に人影がない。シャッターを下した店が多い。市街地の空洞化が進んでいます。

自動車で郊外のショッピングセンターへ行き、大量に買い物をして冷蔵庫にため込む生活に変わってきました。自動車がなければ買い物もできず、生活しにくい状況、自動車産業と家電産業がもたらしたライフスタイルです。

市街地へどのように人を呼び込むのか、市街地は高齢化が進み、若者や子どもたちが減っています。人口減少、少子高齢時代を迎え、自動車を中心にした生活様式は、高齢者にとって非常に不便で不都合です。



七尾市長
武元文平

近くに八百屋や魚屋等、日常生活の必需品が手軽に買える店があり、友人や知人との交流の場、きれいな街路や公園等安らぎの場、快適な環境、文化活動の場：そんなものが揃ったところが高齢者や子どもに住みやすいところ

必要なのが揃っており、便利な所でもありません。市街地は、かつて、にぎやかで楽しくて、きれいなところでした。生活を取り戻さなければなりません。

自動車を中心としたライフスタイルを見直し、自動車がなくても生活できる空間・地域づくりが人口減少、少子高齢時代のまちづくりです。地元商店が郊外のショッピングセンターと価格で競争しても勝ち目は

ありません。価格は少し高くて、アフターサービスや日ごろの御用聞き、出前で負けることはありません。

地域の人間関係を豊かにし、地域住民の住みやすい街でなければ外から人を呼び込むことはできません。七尾で消費するものは、地元七尾で買い物をし、地元を住みやすくすることが市街地再生の基本です。

市長へのメール「前略市長さん」(<http://www.city.nanao.jp/shicho/index.html>)では、市民のみなさんからのご提言、ご質問などをお待ちしています。

市長談話室

開催日程

11月14日(火) 15:00～17:00

会場 本庁 1階 情報公開コーナー

※公務により、中止になる場合があります。

子どもからお年寄りまで、どなたでも談話できます。気軽に、市政に対する提言やアイデアをお聞かせください。

お申し込み・お問い合わせは

男女参画まちづくり課

☎ 53-1112

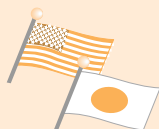
※お申し込みは1週間前までにお願しいたします。また、お申し込み多数の場合は、抽選になります。

国際交流 コラム

ハロウィン

七尾市国際交流員

ジョエル・クワッツ



アメリカでは10月になると、風で揺れる黄色くなつた楓の葉の音が聞こえてきます。これが

合図となつてハロウィンがスタート!

ハロウィンは昔、アイルランドの収穫感謝祭で、19世紀に移住したアイルランド人がアメリカに紹介しました。10月31日は不可思議な世界と接することができると思っていたので、仮装する習慣ができたのでしよう。今の「アメリカ

ン・ハロウィン」は都市から郊外に移り住むブームがあつた50年代にできました。

10月31日の夜、仮装した学生が友だちと一緒に近所の家を訪ねドアを開けた人に「トリック・オア・トリート」(お菓子をくれなさいといたずらするぞ!)と言つてお菓子を要求します。大人も仮装して子どもたちと回ったり、友人と飲みに行く大学生も多く、日常とは違う雰囲気を経験する絶好の機会になっています。みなさんも、ハロウィンで仮装してみませんか?